

---

- un strange days -

ATS

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

- u n s t r a n g e d a y s -

### 【Nコード】

N5049D

### 【作者名】

A T S

### 【あらすじ】

日常の中で感じた事。短い言葉で表現してみました。自己満足に終わっている作品ですが、読んでいただければと思います。

『モラトリウム GO HOME』

水底からのぞく天井は、水面が揺れるたびにキラキラと……まるで  
宝石の様な輝きでボクの心に入り込む

ゆらゆらと揺れていた体が、ふわり

浮かび上がれば、ヒグラシの声

どこからともなく香る夕餉の匂い

家が恋しくなる

GO HOME

迎えてくれる人がいた

あの頃に帰りたい

『往く者』

寒さによって目覚めた朝、秋の訪れを感じた瞬間なのだと、勝手に  
思う事にした

ふと視線を上に向けてみると、心なしか空が高い

久しぶりに出した長袖を持ち、川べりの土の匂いをかぐ

風の中にも、それは感じられた

#### 四季

いつまで感じる事が出来るのか……

見届けるのではなく

見続ける者になりたい

『スイート・スイート・ノスタルジック』

ひとかけらのチョコレートを放り込むと、口の中に、カカオの香りと共に独特の甘さが広がる

お湯にレモンの絞り汁

そして一さじの蜂蜜を入れる

ホットレモネード

柑橘系のすっきりとした香りと、蜂蜜の甘い香りが一緒になって鼻をくすぐる

パンの耳は、砂糖を振りかけながらフライパン

程良い堅さのフレンチトーストは、ミルクと共に

イチゴとミルクと練乳の、ストロベリーセーキはフワフワの味

作る人

それを待つ人

ホットケーキの匂いが香ばしい

### 『言葉』

心を亡くすと書いて忙しいと読む

昔の人は、このような言葉で我々後世の者に色々な教えを残してくれた

人に夢と書いて儂いと読む

人は夢を見るが、夢は幻と消えてしまう

けれど、それは夢を見るだけだからであって、夢に向かって行動を起こせば、その瞬間から夢は夢でなくなる

### 目標

夢は儂さを持つが、目標は、いつか越えられると思っている

きれいな事かもしれないけれど、きれいな事を言えない自分にはなりたくない

二十七才秋の夜、虫の声と共に、ふと思う

『夜と夜明けと朝の日と』

走り続けてみたけれど、この先に、目指したゴールがあるのだろうか……

いつまで走ればたどり着くのか　それすらも知り得ない

気持ちばかりが焦る夜、それでも走り続ける自分が居た

何かに追われる様に、何かから逃げるかのように

けれども俺は気が付いた

夜がこんなにも静かで、空には星が輝くことを

そして感じた

色のない世界に、その輝きが戻る瞬間

走り続けなければ見られなかったモノ

走り続けなければ感じられない大切なこと

悩んでいるだけでは、東から登る朝日でさえも知り得ない

走り続けることは

悪い事では無いのかも知れない

『雨しきり』

晩秋の午後に紅茶を入れてみると、灰色の雲が大粒の雨を降らし始めた

あたりの景色が更に色彩を失ってゆく

それが、雨のせいなのか、それとも俺の心がそうさせたのかは判らない

一度降り出した雨は延々と続くかのような錯覚を覚える……

けれど、そんな憂鬱な午後には、たっぷりミルクの紅茶を一杯

心に少し、優しい気持ちに戻る時

### 『何も無い日』

何も予定の無い一日

雲一つない一日

携帯の電源は切つてある  
もったも、電波は届かない

そんな何も無い一日  
一つだけあるとしたらそれは

自分の体、一つだけ

何も無い一日

自分を見つけた

『風のある日』

朝から予定に追われる日

疲れたなんて言う暇もない一日

風が出てきた

僅かばかりの自分の時間

風を感じる為だけに使っても

後悔はない

『変わらない場所』

自転車で30分も走ると山に出る

山と呼ぶにはおこがましい程の  
小さな小さな山にでる



そこからまた30分  
今度は歩きで頂上へ

そして一本の大木と再会する

町の様子が変わっても  
この場所だけは変わらない

『ため息と深呼吸』

悲しいときはため息を一つ

憂鬱なときもため息を一つ

だけど

次には一つ、深呼吸

少しだけ、前に進めるおまじない

『姫』

幾千もの夜に囚われながら

君は今、何想う

麗しき眠りの姫に

そつと唇を重ねる時

僕は君の事を想う

『凜』

凜とした空気

俺は嫌いじゃない

洗い立ての胴衣を身にまとい

道場へと足を踏み入れる瞬間

俺の心も凜とする

- n e x t d a y s -

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5049d/>

---

- un strange days -

2010年10月28日05時32分発行